

# JB Customer Report

カスタマーレポート

ORPHIS GL

当社で実際に機械をご導入いただいたお客様の  
「生の声」をご紹介します!

取材：営業部 営業企画推進課

## 岐阜県立岐阜盲学校 様

岐阜県立岐阜盲学校の田邊様に、学校内に導入させていただいているORPHIS GL9730についてお話を伺いました。



### ◇岐阜盲学校について◇

当校は、視覚障がい者を対象とした県内唯一の教育機関です。児童生徒の年齢は幅広く、就学前の乳幼児を対象としたアアイ教室、小学生から高校生までの学齢の児童生徒に加え、20歳代から50歳代までの中途視覚障がい者に対しあん摩マッサージ指圧・はり・灸の資格取得を目指した職業教育を行うことで、社会復帰に向けた指導を行っています。見え方は、まったく見えない人から見えにくい人まで様々です。また、遠方に居住する児童生徒に対する通学の便をよくするため、寄宿舎を設置しています。寄宿舎では日常生活を通して舎生の自立に向けた支援を行っています。

### ORPHIS導入で気づけた「会議時間の意外な短縮」

今まで会議資料等、用意をする時は孔版印刷機で印刷をしていました。孔版印刷機は片面印刷の大量印刷時は手軽に、早く、低コストで印刷できる事が長所ですが、両面の資料を印刷すると、まず表面の印刷をしたあと、少し乾くのを待ってひっくり返し、裏面を印刷してようやく完成、というようになりかなり手間がかかっていました。また、部ごとの印刷が簡単にできない為、会議資料を配布する際は、会議を始める前にまず机の上にずらっと資料を並べ、職員が端から順番に並んで資料を1枚ずつ取っていくという方法でしたので、会議が定刻から開始できるように少し早めに多目的室に集まるようにしていました。職員数も70名程いるので、作業時間もかなりかかっていましたね。今はORPHISで印刷しており、ステープルなどの後処理機能を活用することで、今まで会議資料を印刷していた教務主任の印刷作業にかかる時間や手間も大幅に短縮できましたし、会議前に資料を順番に取っていくという作業もなくなったので、会議が早く始められるようになり、かなり楽になりましたよ。



### 授業に欠かせないORPHISのスキャン機能

当校では、弱視の児童生徒に対して、本人が所有する問題集などをスキャンし、そのデータを児童生徒ひとりひとりが専用アプリで自分に合った大きさに拡大をして授業を受けています。以前までは他のスキャナーを使用していましたが、文章を写真として読み取ってしまうと背景が映りこんでしまうことや、読み取ったサイズがバラバラになってしまうことがありました。ORPHISのスキャナーは自動でしっかりと読み取ってくれますし、スキャン速度もすごく速いですね。手軽に操作でき、必要な資料等を各先生のパソコンにすぐにデータを飛ばすことができるので、ORPHISのスキャンはもう欠かせない機能の一つですね。



### ORPHISにて実現した「環境問題への配慮」

今まで使用していたレーザープリンターは、給紙台等が無くカセットのみだった為、裏紙を使用する際はカセット内の用紙と裏紙を入れ替えなければならず、セッティングに手間が掛かる為、中々使うことがありませんでした。ORPHISには普通紙を1,000枚載せておける給紙台が標準でついているので、給紙台には常に裏紙を置くようにしています。通常はカセットに入っている用紙で印刷をして、裏紙を使用するときは給紙台を選択するやり方で使い分けていますよ。インクジェット機であるがゆえに裏紙での通紙精度も高いので、裏紙を簡単に利用できるということは、環境にも配慮できるのでとてもいいところですね。

### 営業担当者の声

いつもオフィスを有効活用して頂きありがとうございます。カラーがより身近に印刷できる環境になったことで、教職員の皆様の授業教材の質がさらに向上された様に感じ、とても嬉しく思います。今後も教職員の皆様をさらに「EGAO」に出来る様、よりよいプリント環境整備に取り組ませて頂きます。



担当営業：袖原 重彦